

あかるく
なかよく
たくましく



学校だより

武岡台特別支援学校 令和8年3月5日(木)

学校ホームページアドレス

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/Takeokadai-H/top.html>



AI
作成

一人一人の挨拶

教頭 鎌田 志穂

下校時に、私は、正門横で通学バスや送迎車の子もたちを見送ります。そのとき、私は手を振り、「バイバイ」をします。子どもたちは、ちゃんと私の目線を見ている。目が合い、自分に手を振っていると分かったら、挨拶として「バイバイ」を返してくれます。

登校時は、安全管理のため正面玄関前に立ちます。子どもたちがバスターミナル内に入らないよう見守りながら、みんなに挨拶をします。

「おはようございます」の挨拶に、言葉や目線やうなずきで応じてくれます。でも、難しい子どもも多いです。そこで、「行ってらっしゃい」と手を振ることを追加すると、言葉だけでは応じなかった子どもたちが目を向け、応じるようになってきました。毎日の繰り返して、スキルアップしていきます。

挨拶は、様々です。「おはようございます」「おはよう」と言葉に出す子、会釈をする子、目線をむけてうなずく子、手を振り返す子、手にタッチする子……。他にも、ピースサインをする子、招き猫の身振りをする子、自慢げにお気に入りのものを見せてくる子……。

たくさんの挨拶があり、された私は、どれも、とても「うれしい!」です。

このつながりが、社会でもとても大切だと思います。自分なりに構わないので、相手に届く挨拶を、一人一人に丁寧に育てていきたいと思っています。

〈 小 学 部 〉

6年生の皆さんへ。この6年間で、皆さんはたくさんのことを学び、心も体も大きく成長しました。特にこの1年間、運動会や校外学習、修学旅行や学習発表会など、大きな行事を経験していく中で、皆さんが頑張る姿を間近で見ていて、先生たちはすごく成長を感じました。その中で、楽しかったこと、うまくいかなかったこと、その全てが皆さんの大切な力となっています。これから始まる新しい毎日には、不安や緊張もあるかもしれませんが、皆さんなら、きっと自分らしい道を切り開いていけます。先生たちは、いつでも皆さんを応援しています。これからの未来が、笑顔と夢であふれるものになりますように。

保護者の皆様、これまで本校小学部の教育への深い御理解と温かい御協力を賜り、心より感謝申し上げます。保護者の皆様に支えられ、子どもたちは多くの経験を重ね、大きく成長することができました。日々の励ましや見守りが、子どもたちの確かな力となっています。小学部での学びは一区切りとなりますが、これからも子どもたちの成長は続いていきます。まだまだ成長を続ける25人を、我々もこれからも見守り、応援し続けたいと思います。今後とも変わらぬ御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。



(小学部第6学年主任 高野 秀幸)

〈 中 学 部 〉

中学部を卒業する32人の皆さん、御卒業おめでとうございます。

皆さんは、この三年間で多くのことを学び、できることを増やしてきました。最初は難しかった作業や学習も、少しずつ自信をもって取り組めるようになりました。

3年生になってからは、作業学習や運動会などでリーダーシップを発揮し、下級生を引っ張る姿が見られ、とても頼もしく感じました。修学旅行では、新幹線や熊本城、グリーンランドなど仲間との楽しい思い出がたくさんできましたね。



また、中学部最後の学習発表会では、創作劇「ありがとうの花」を披露し、自分の得意なことや大切な人への感謝の気持ちをしっかりと伝えることができました。皆さんの優しさや思いやりがあふれ、本当に素晴らしい発表でした。友達と協力して行事に取り組んだこと、その一つ一つが、皆さんの大切な宝物です。



4月からいよいよ次のステージが始まります。これからも、明るく、仲よく、たくましく、一日一日を大切に過ごしてください。皆さんのことを、いつまでも応援しています。

(中学部第3学年主任 早崎 道子)

〈 高 等 部 〉

卒業の日を迎えたみなさんへ、心からお祝いを伝えます。

今日この日を迎えるまで、みなさんはたくさんの経験を積み重ねてきました。授業での学び、校外実習での挑戦、友達と過ごした楽しい時間、そして思うようにいかず悔しい思いをした日々。そのすべてが、みなさんを大きく成長させた大切な思い出であり、かけがえのない宝物です。学校生活で身につけたことは、勉強だけではありません。挨拶をすること、時間を守ること、人と関わること、最後までやり抜くこと。こうした当たり前に見える行動の積み重ねこそが、みなさんの未来を支える大きな力になります。

今日、みなさんは学校生活を終え、次のステージである社会生活へと踏み出します。不安や迷いを感じることもあるかもしれませんが、あせらず、自分のペースで、一步一步前へ進んでください。どんなことがあっても、みなさんは必ず、自分だけの花を咲かせることができます。

これから出会う人々や経験を大切に、自分らしく輝き続けてください。

みなさんが未来へ大きく羽ばたいていくことを、心から願っています。



(高等部第3学年主任 栞 哲也)